

高 知 県

高知県退職高等学校長会（三楽会）

結成 昭和49年4月

本会は、多くの退職高等学校長の参加を得て、昭和49年に（三楽会）と名付けた親睦団体を作り、規約を定めたものである。三楽会の由来は、孟子の「尽心」の中にある「君子に三楽あり」から取ったものである。現在は、特別支援学校、市・私立高等学校の退職校長も仲間として加入している。そして、次のような活動を行っている。

○ 春の総会・秋の総会

毎年、春と秋に定期総会を持ち、米寿・喜寿・叙勲の対象者をお祝いし、新入会員を歓迎している。そして春秋共に講演会を開催しているが、講師は春には外部の方を招き、秋には現職の管理職が会員にお願いしている。いずれの場合も、終了後は講師をゲストとして懇親会を持ち、親交を深めている。

○ 名簿・会誌の発行

毎年、会員名簿と会誌を発行し、総会の講演内容、会則、役員などの周知を図っている。また会員の近況については、特に総会の欠席者の体調などは、本人の近況報告をそのまま会員全員に知らせている。この点については、春秋共に仲間の近況を知ることが出来るので続けて欲しいという会員からの声が多い。

○ 退職・現職校長交流会

毎年8月上旬に上記の会を持ち、現在現場の学校で起こっている諸問題について情報交換をしている。近年は、道德教育、いじめ問題に加えて、生徒減と津波対策のための学校統合が浮上してきている。海拔の低い高知市の大規模高等学校なども対象になり、県民の関心も高い。

○ 四国地区連絡協議会

平成25・26年度の2年間、当番県として努めてきたが、他の三県の方々に何かとご迷惑を掛けながら、ご協力を頂き感謝しているところである。四国の協議内容も時代の影響を受けて、「小・中一貫教育」、「土曜授業」などと中央なみになってきた気がする。

○ 「教育の日」に協力

平成22年に高知県教育の日「志・とさ学びの日」を制定した後、県教育委員会教育対策課が中心となり推進県民協議会を組織して、毎年11月1日を中心に関連行事を行っているが、その協議会の一員として三楽会も協力しているところである。特に中央から招く講師の講演は人気が高い。

